

讃岐富士→



動くブリッジで
船長気分を味わおう!



屋上(6F)に操船体験ができる動くブリッジがあります。このコーナーは、船の操縦席をそのまま再現。しかも舵輪を回すと、なんとブリッジ全体が舵角指示器どおりに動くしかけになっています。自分で回した角度だけ目の前の景色が動くのは新鮮な感覚。まさに船長気分。

眼下には讃岐平野が広がり、やさしい稜線の讃岐富士の眺めも堪能できます。



「海の日」を記念して

7月19日(日)・20日(月)の2日間は
海の科学館を小・中・高校生に無料開放します。



	大人	中人 (中学・高校生)	小人 (5歳以上・小学生)
入館料	450円	350円	250円
団体割引 (20名以上)	360円	280円	200円

- 開館時間 9:00~17:00 (年中無休)
※入館は16:30までとなります。
- 入館者は駐車料無料

HPのアドレス
が変更になりました。



公益財団法人 琴平海洋会館

〒766-0001 香川県仲多度郡琴平町953番地
TEL (0877) 73-3748 FAX (0877) 73-3116
(E-mail) umikagak@eagle.ocn.ne.jp
(URL) http://www.kaiyohakubutukan.sakura.ne.jp/

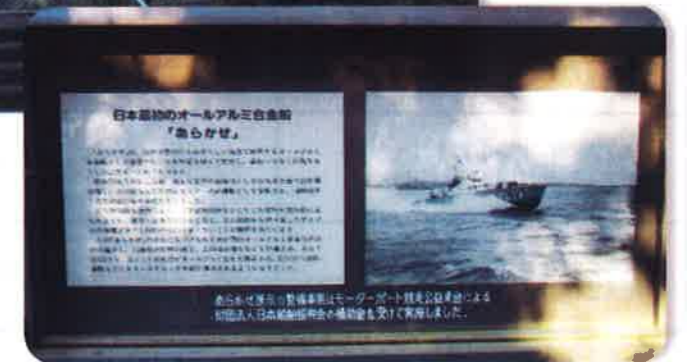
海の科学館ニュース '15



公益財団法人 琴平海洋会館



春のあらかぜ (平成27年4月2日撮影)



日本最初の オールアルミ合金船「あらかぜ」



「あらかぜ」は、当時世界的にもめずらしい海洋で使用するオールアルミ合金船として建造され、4半世紀を超えて就航し、事故一つなく任務を全うした記念すべき船であります。

昭和29年3月竣工以来、海上保安庁の巡視艇として北九州方面で20年間活躍し、その後海上災害防止センターの訓練船として使用され、昭和56年1月就航後27年で廃船となりました。

長時間過酷な使用により、船体は接弦時などに生じた変形が部分的に見られますが、損傷・腐食などは全くなく、また船体から切り出したサンプルの強度試験でも材料の劣化は全くなることが確認されています。

平成26年度・企画展

当館では、随時テーマを持った企画展・特別展を行っています。



期間	企画展名
平成26年 2月25日(火)～ 平成26年 4月13日(日)	「内航海運」パネル展
平成26年 3月18日(火)～ 平成26年 4月13日(日)	第61回 金刀比羅宮奉納 学童書初め大会 上位賞展示
平成26年 4月19日(土)～ 平成26年 5月18日(日)	海のしごとパネル展
平成26年 5月31日(土)～ 平成26年 7月15日(火)	練習船『銀河丸』2世 航海絵画展 (坂井英八郎画伯)
平成26年 7月12日(土)～ 平成26年 7月31日(木)	第62回 金刀比羅宮奉納 学童写生大会 上位賞展示
平成26年 8月2日(土)～ 平成26年 9月28日(日)	第51回 四国中学生 海の絵画コンクール展
平成26年 10月4日(土)～ 平成26年 12月7日(日)	第34回 小学生船舶模型工作展 
平成26年 12月13日(土)～ 平成27年 1月12日(日)	第42回 我ら海の子特別展示会  
平成27年 1月17日(土)～ 平成27年 3月1日(日)	灯台絵画コンテスト2014
平成27年 3月14日(土)～ 平成27年 4月12日(日)	第62回 金刀比羅宮奉納 学童書初め大会 上位賞展示

第34回 小学生船舶模型工作展

平成26年
会期: 10/4(土)～12/7(日)

小学生たちが夏休み期間中に制作した作品を一同に展示する工作展も第34回目の開催となりました。県内の小学校30校から、応募作品数は計400点とたくさんの作品をご応募いただきました。作品は、1年生～3年生(低学年の部)と、4年生～6年生(高学年の部)に分けて審査。各部門より四国運輸局長賞・高松海上保安部長賞・琴平海洋会館会長賞が選ばれた他、準優秀賞・奨励賞・努力賞が選ばれました。



2階展示風景



審査風景

優秀作品6点は1階に展示。平成27年の7月頃まで。



四国運輸局長賞



高松海上保安部長賞



琴平海洋会館会長賞



四国運輸局長賞



高松海上保安部長賞



琴平海洋会館会長賞

こんぴら豆知識 (所蔵品紹介)



象頭山金毘羅全図(松川半山作)
芝居小屋もでき、金堂(旭社)も完成しているが、金堂前の廻廊がないので、嘉永から安政にかけてのものであろうといわれています。



金刀比羅山全景案内図(昭和35年1月5日印刷)
現在の姿に近くなっています。左側の図と比較して鑑賞してみると面白いです。

琴平山は、その形が象の頭にも似ていることから、「象頭山(ぞうずさん)」とも呼ばれます。



金毘羅大権現

古代において琴平山は、死霊・祖霊の集う山とみなされるとともに、農耕を守護する水分神(みくまりのかみ)が祀られていました。同時に、形に特徴のある琴平山は、瀬戸内海での船舶運送の目当てであり、航海を守護する神の山とされました。このような霊山信仰の下、琴平山は修験者や山伏の行場として次第に発展しました。その過程で、神仏習合のもと密教の教理を身につけていた修験者は、ヒンドゥー教の海の神・航海守護の神であるクンビーラを琴平山に祀りました。クンビーラは、ガンジス河のワニが神格化された神で、漢字では「金毘羅」と書きます。その結果、江戸時代の元和4年讃岐の国主生駒正俊が琴平山に神領を寄進する際の寄進状に「金毘羅大権現」と記されるに至ります。(出典:金刀比羅宮オフィシャル・ガイドブックより)

小学生の海事学習教室

遠足・校外学習に
ぜひご利用ください♪

公益財団法人琴平海洋会館は海事知識の普及と啓蒙を図るため、昭和40年12月に設立され、多くの方々に支えられ今年で設立50周年を迎えました。平成27年は開館50周年事業として、小学生等を対象とした「海事学習教室」を開催いたします。琴平海洋博物館(海の科学館)を見学される時は、引率教諭及び児童等の入館を無料といたします。開催期間は、平成27年4月～12月までです。

(お問合せ・申込連絡先)
海の科学館
TEL 0877-73-3748

とんとん
申し込んでね♪

